



PORSCHE

7. Jun. 2017

Vol.89/17

ポルシェがイスラエルで総額 8 桁 US ドルを投資

スタートアップ企業とベンチャーキャピタルファンドと共同で、 テルアビブにイノベーション オフィスを設立

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：オリバー・ブルーメ）は最新技術の情報を収集し優秀な人材の確保を目的とした「イノベーション オフィス」を、イスラエル第二の都市テルアビブにて設立するため、Magma 社と Grove 社が運営するベンチャーキャピタルファンドに総額 8 桁 US ドルに及ぶ投資を行いました。今後はスタートアップ企業とファンドへのさらなる投資も計画しています。

「イスラエルは優れた IT 専門家とエンジニアを多数輩出している国です。人口 1 人当たりにも占めるスタートアップ企業の数でも世界一を誇ります。その人材および技術的なノウハウと、私たちの従業員の専門知識を融合することで、将来のビジネスモデルが生まれることでしょう」と、取締役会副会長で財務・IT 担当の取締役会メンバーを務めるルッツ・メシュケは述べます。またメシュケは、イスラエルの専門家との緊密な協力は、ポルシェが新しいテクノロジーを迅速に評価し、良好な関係を構築し、適切なソリューションを導き出すために必要であると付け加えます。

Magma Venture ファンドは 1999 年から投資を開始し、現在は人工知能と自動車の分野に焦点を当てています。Waze 社をはじめとする多数の成功したスタートアップ企業に投資してきた Magma Venture は、イスラエルで有数のベンチャーキャピタルファンドのひとつで、運用資産総額は 6 億 US ドルに達します。また、Grove Ventures は 2015 年に設立され、1 億 US ドルの資産を運用するベンチャーキャピタル会社で、主要な投資分野は「IoT」（モノのインターネット）、クラウド テクノロジー、および人工知能です。

「イノベーションには出発点が必要で、そこから系統立てて進めていかなければなりません。よって、私たちは外に目を向けることにしたのです。私たちが他の産業からインスピレーションを受け入れるのは望ましいことであり、また必要なことなのです。そのために私たちはスタートアップ企業との協力を進めています。私たちの事業分野に関連するファンドへの投資だけでなく、他の企業や科学コミュニティとのパートナーシップの構築も推進しています」と、メシュケは述べます。この取り組みの具体例が、ポルシェ デジタル社によるスタートアップ企業、Evopark 社への出資や、ライプツィヒ商科大学とのコラボレーション、ベンチャーキャピタル企業の e.ventures への投資です。

昨年、ポルシェは「デジタル トランスフォーメーション」を推進するための大きなプロジェクトをいくつか立ち上げました。その一例が 2016 年 6 月に設立されたポルシェ デジタル社です。シリコンバレーのガートナー社に 20 年勤めた経歴を持つティロ・コスロフスキーが率いるこのポルシェの子会社は、デジタル化による顧客エクスペリエンス／製品／ビジネスプロセスなどに関する研究・開発を行っています。また、ポルシェ AG の子会社およびポルシェ デジタル社の関連会社である Porsche Digital, Inc.が先日、カリフォルニア州サンタ・クララに拠

点を開設しました。そのほか、ポルシェは2016年9月からベルリンでポルシェ デジタル研究所も運営しています。このラボは革新的な情報技術ソリューションの研究とテストを目的とした施設です。

こうした投資はいずれも、ポルシェ社内における職場の現代化と業務の効率化を図るデジタルトランスフォーメーションのプロセスに基づいたものです。またポルシェ社内では、複数の部門にまたがる革新技術の管理システムやアイデアの創出と集約を系統的に処理するシステムの構築を推進しています。

<p style="text-align: center;">＜本件に関する読者からのお問い合わせ先＞ ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911 ポルシェ ホームページ http://www.porsche.com/japan/</p>
